

経済倶楽部便り

◆東京◆ 3月に入り経済倶楽部講演会はコロナウイルス対応もあって、全て中止されました。9年前も同じ3月に東日本大震災が発生し、翌

週から2回、講演会を中止したことがあり、それ以来のことです。ただ、講師の方にはスポーツの「無観客試合」のように、座談形式でお話を頂きました。4月の講演会についても依然大都市圏での集団感染の懸念が高いとの専門家会議の発表を考慮し、休会とします。3月に行って頂きましたピクテ投信投資顧問シニア・フェローの市川眞一氏、早稲田大学大学院教授の青山瑠妙氏とも新型コロナウイルスの経済や政治

への影響について独自のコメントをされています。座談は5月号に掲載予定です。

5月の講師はインサイドレポート編集長の歳川隆雄氏、慶應義塾大学教授の白井さゆり氏、早稲田大学教授の中林美恵子氏、千葉大学教授の酒井啓子氏を予定しています。

◆中部◆ 講演会は3月が一回のみ。4月はコロナウイルス対応で中止としました。3月に講演頂いた東短リサーチ社長の加藤出氏によると、同社の上海支社の社員は2月の3週間、家から一歩も出ず、買い物はすべてネットスーパーで注文して過ごしていたとのことでした。

5月の講師は拓殖大学海外事情研究所教授の富坂聰氏と元日本経済新聞ソウル特派員の鈴置高史氏を予定しています。
(日暮良一)